

群馬大学大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学

URL:<http://ichinai.dept.med.gunma-u.ac.jp/lab/index.htm>

大学院では、内分泌代謝疾患・糖尿病を対象に、疫学的研究やノックアウトマウス、次世代シーケンサーなど種々の実験手法を用いて臨床・基礎研究を進め、世界に向けて情報発信しています。最近の代表的な研究成果は以下のようです。

● 内分泌グループ：

1. TSH産生下垂体腺腫の全エクソーム解析 (J Clin Endocrinol Metab 102:566-75, 2017)
2. 日本人のアルドステロン産生腺腫におけるKCNJ5変異の特徴 (Endocr J 64: 39-47, 2017)
3. Helz2欠損マウスは肝臓におけるレプチン受容体高発現により高脂肪食誘導性肥満に抵抗性を示す (Endocrinology 155: 3459-72, 2014)

● 糖尿病グループ：

1. 骨格筋培養細胞を用いて機械的伸展刺激を加えることにより糖取り込みが増加するメカニズムを解明する研究 (Cell Signal 28:1694-702, 2016)
2. FynによるAutophagy、サルコペニアの機序を解明する研究 (Oncotarget 7: 74612-29, 2016)
3. SGLT2阻害薬のドラッグリポジショニングに関する研究 (Endocr J 62: 1133-37, 2015)

オープンラボ担当：佐藤哲郎 027-220-8122